



第78号

発行
山辺地区社会福祉協議会
事務局
山辺公民館内 気付
TEL(呼)0284(71)0516

- すなおな心 (はい)
- 反省の心 (すみません)
- 謙虚な心 (おかげさま)
- 奉仕の心 (私がします)
- 感謝の心 (ありがとう)
- 山辺地区日常五心

・活動を下表の4つに新分類。
・本年の新事業として外出困難者支援策検討と情報共有型地区福祉マップの作成が加わる。

年に一度の私達の地区内福祉活動の総括と今年1年の活動方針を決定する総会が、早川市社協会長を始め多くのご来賓の出席の下に凡そ90名の地区内の有志役員・ボランティアの方々が出席して開催された。

石川会長の挨拶後、恒例の功労表彰は本年は該当者がおらず規定の紹介に留まる。

ご来賓の祝辞は市社協早川会長、塩田県議、栗原市議のお三方より頂き(次頁に記載)、出席ご来賓の皆様からはご紹介時席上から挨拶頂いた。表彰が無い分余裕時間がとれ、それぞれ自己紹介や地区との関係等を笑いのある和やかな雰囲気の中で挨拶頂き、参加住民との親近感も増すことができた。

小休憩後議事に入り、報告事項の承認後、役員補選、本年度の活動・予算を審議。それぞれ満場一致で承認されたが、その内容のポイントを示す。

令和7年度総会

福祉環境が大きく変わる年に

- ・全支部登録の実現(市目標)。
- ・支えあい協議会の活用。
- ・市社協補助金規定の20年ぶりの大改訂で、補助金の減が大きくなり、新たな自主財源策を講じる必要があること。

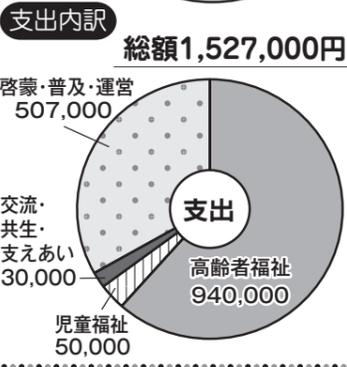
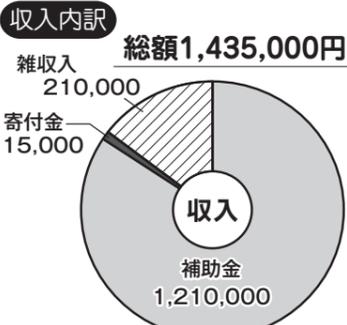


石川会長挨拶 要旨

地区社協は、明るく住みやすい地域造りの為に住民が主体的に活動を展開し、福祉増進を図ることを目的としております。その目的に向けての活動を更に推進する所存ですので、本年もご協力の程お願い致します。

令和7年度 予算

- 赤字予算である。
- 補助金減が大。
- 新たな自主財源確保策が求められる



今年度の主な事業(基本計画)

- ◆高齢者福祉
 - ・独居老人給食サービス
 - ・特別友愛訪問・老連支援
 - ・見守福祉協力員制度浸透
 - ・いきいきサロン育成支援
 - ・安心キット普及
- ◆児童福祉
 - ・福祉教育支援
 - ・子育てサロン運営
- ◆交流・共生・支えあい
 - ・講演会開催
 - ・福祉ボランティア育成
 - ・ふれあいハイキング
 - ・共生社会促進
- ◆啓蒙・普及・運営
 - ・山辺文化祭模擬店事業
 - ・リサイクル活動
 - ・地区外研修
 - ・広報紙発行
 - ・理事会
- ・支部活動支援
- ・支えあい協議会への参画

福祉ボランティアの交流会 開催

6月24日18名参加して代表者交流会議をもち、ボランティア保険への加入確認とコロナ禍からの回復後の活動ぶりの情報交換を行った。各団体・グループとしての練習は活発にやられているようですが、訪問演舞の度は、まだ施設等からの依頼は少ないようだ。コロナ禍前との比較には「あの頃は若かったからね」という言葉が出るほど、コロナ禍で忍従した年数の長さを思わざるを得ません。

各団体の紹介キヤッチコピーを載せた外部PR用名募集については、新規登録活動を進めた段階で作成検討していきたい。

町内花壇紹介



中川町自治会館北



中川町老人会の努力の開花、最盛期のユリの花は素晴らしい



堀二50号高架下交差点



堀二緑化推進メンバー

マップづくりを進めていきます

地区支えあい協議会で昨年実施した「見守り」のテーマでのブレインストーミング会は多分野から多年代の方々が多数参加し、実に多くの課題と建設的意見提案が出された。その中で「お互い、知らなすぎない」があった。この対応として、知っておくべき福祉関係事項を記載した「情報共有型福祉マップ」を作ろう、という提案に沿って実施するものです。

現在各支部町内の自治会長・



スーパーカスミの移動販売車来る

基本スーパー店と同値で市の「買い物支援策」の一つ。山辺地区は毎週水・山辺公民館14:40、市営住宅15:05、西新井自治会館15:30の3ヶ所と、毎週月午前、ひなたぼっこするしほりの前。

良い制度はウィンウィンでないと続かない。大いに利用しよう。

民生委員中心に試作に入っています。一次集約状況は年内にお知らせする予定です。

時の断想 「お母さんたち」

ジャー、ジャー...土曜の午後、友達と遊ぶ約束をして普段通りぬ路地を通ると、響いてくる工業用ミシンの音。

当時縫製の内職に精を出すお母さんたちが沢山いた。大きな車から裁断された色とりどりの生地が運ばれ、最新のファッションとして都会に送られていたのだらう。和裁、工場の部品加工の一端、内職のお母さん達の働きで私達は成長し大人になった。

「ただいま」。家の前に見慣れた自転車。「お茶飲み」にきた婦人会や母の「ママ友」だ。テーブルには持ち寄った煮物やご自慢の漬物が並んでいる。会話の内容は?。私は挨拶して部屋に行ってしまった。お母さん達の息抜きだったのだらう。

後年、歯科の待合室で「婦人会」のオバさんに会った。相変わらず元気に話し、順番が来るまで喋っていた。

最近姿を見掛けなくなったが、お元気で今でもどこかで喋り続けているのだろうか。

八幡まる子